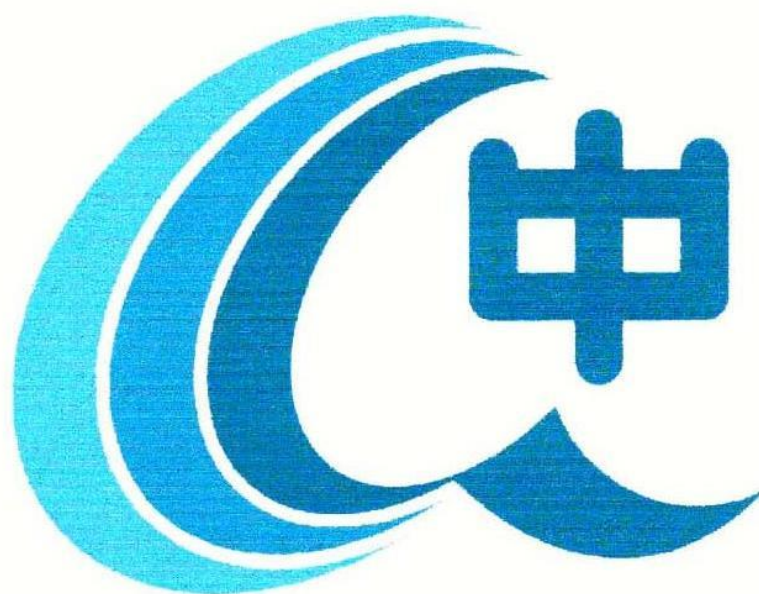


令和8年度 第3学年

第1回

進路実現に向けての資料



浦安市立明海中学校

3年 組 番 氏名

目次

I	進路選択に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・	1～3
II	進路選択フローチャート・・・・・・・・	4
III	高等学校進学について・・・・・・・・	5～9
		別紙1～10
IV	高等専門学校・・・・・・・・	10
V	専修学校、各種学校	10～12
VI	学校説明会・学校訪問について・・・・・・・・	13、14
VII	就職について・・・・・・・・	15
VIII	職業訓練校＝高等技術専学校・・・・・・・・	16
IX	資料・・・・・・・・	17～22

I 進路選択に向けて

生徒のみなさんは…

1 自分自身と対話しましょう。

どんな自分になりたいか、どんな環境で学びたいか、進路学習は、自分自身と対話し、成長する機会となります。その過程の中で、将来の夢や進みたい道が見えてきます。未来に向けて、今できることを見つめ直し、日々の生活を充実させていきましょう。

2 夢を具体的な目標にしましょう。

志望する進路を決めるためには、具体的な目標と努力が必要です。目標が決まるとそれに向けてどんな準備をしたら良いか、自分でどんな工夫をしたら良いか考えることができるようになります。経過と結果どちらも大切な自分の財産になります。どんな自分になりたいかは、自分次第で決められます。

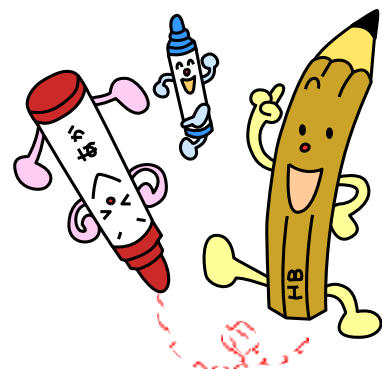
~~行ける進路~~ ではなく **行きたい進路** を選択しましょう！

3 プロセス目標を立てましょう。

目標を達成するために、小さな目標を立てましょう。「卒業後、こうなりたいから、何月までにこれをやろう」というような具体的な行動目標や、「第何回の到達度テストでは何点をとる」というような学習結果の目標を立て、目標達成に向けたステップ目標を具体的に設定しましょう。

4 自分の選択した進路について自分自身で責任を持ちましょう。

周りの方からのアドバイスや自分自身の考えを大切に、自分が納得いく進路を選択してください。三者面談の時に自分の考えを、自信を持って言えるようにしてください。



保護者へのお願い

お子様に自分自身の進路選択という自覚を促してください。最終的に、自分が納得した進路選択ができるよう助言していただければと思います。具体的な進路先の決定においては、新たな進路先でいかに生き生きと生活できるかが重要です。

教育相談（進路面談）について

1 進路についての十分な話し合いをお願いします。

三者面談にあたり、保護者の方とお子様で話し合いを進めてください。面談時間は各家庭20分程度を予定しております。進路実現に向けて円滑に面談ができるよう、ご家庭でも考えをまとめておいてください。

- 7月6日～10日 ・・・三者面談を実施
- 2学期に入って ・・・第3回進路希望調査を受け、生徒・担任による二者面談を実施
- 10月28日 ・・・希望校と希望順位の決定。第4回進路希望調査を基に、生徒・保護者・担任による三者面談を実施
 ～11月4日
- 11月中旬 ・・・出願手続願（最終）

進路面談の内容

- (1) 目標とする進路先、志望校の確認
- (2) 選んだ理由の確認
- (3) 進路希望実現に向けての課題の確認
- (4) 学校での生活面（出欠席・授業態度など）
- (5) 保護者の方の意見
- (6) 希望入試制度（推薦、併願など）について
- (7) 入試スケジュールの確認 など

2 進路面談までにお子様と行っていただきたいこと

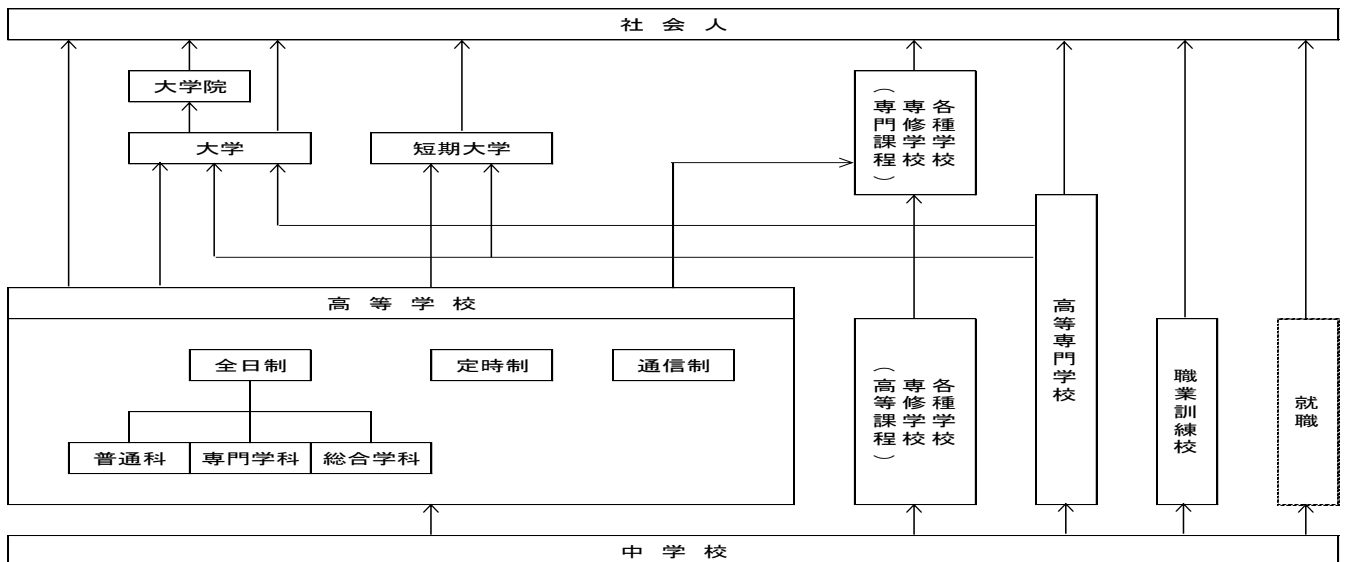
<7月の進路面談>

- (1) どのような進路選択を行うかを決める。(進学か就職か)
- (2) 進学する場合、高校生活に求めていること(何をしたいか、目的等)を自分自身で整理する。
- (3) 進学する場合、どの高等学校に見学に行くのか、インターネットなどで調べ、予定を立てる。
就職する場合、どのような分野に就職したいのか、どのような流れで就職となるのか調べる。
- (4) 進路実現のためにこれから「何をすべきなのか」「課題をどのように克服していくか」など、今後の見通しを持つ。

<10月～11月の進路面談>

- (1) 具体的な志望校とその順位を決める。
(第1希望から順に受験(受検)する可能性のある高校を全て決めておく。)
- (2) 志望校の学科まで決める。(学科によって入試内容も変わってきます。)
- (3) 志望校についてよく調べる。(志望校の見学や説明会の参加も済ませておいてください。)
- (4) 親子での結論を出しておく。(本人の希望と保護者の考えを一致させておいてください。)
- (5) 進路実現のために、これから「何をすべきなのか」「課題をどう克服していくか」など、今後の見通しをもつ。
- (6) 受験方法(一般or推薦)や推薦制度の基準について確認しておく。
- (7) 最悪の場合を想定する。

II 進路選択フローチャート



1 高校入学→卒業後、大学・短大に入学→(大学院)→就職する

⇒◆全日制高校、◆国立高等専門学校(木更津・八王子など)

2 高校入学→卒業後、就職する

⇒◆全日制高校(普通科、看護科、英語科、家政科、園芸科、福祉教養科など)

◆通信制高校

◆商業高校(商業科、情報処理科など)

◆工業高校(機械科、電気科、建築科、インテリア科など)

◆農業高校、水産高校

3 中学卒業後、働きながら学びたい

⇒◆定時制高校(千葉・船橋・行徳・市川工業・千葉工業・千葉商業・市立習志野高校など)

◆通信制高校

◆企業内高等学校(東京電力、石川島重工業、豊田自動車など)

4 中学卒業後、技術を身につけたい

⇒◆各種学校(調理、服飾、簿記など)

◆職業訓練学校(自動車整備、機械、板金など)

◆技術専門学校(事務、洋裁など)

5 中学卒業後、就職したい

⇒◆ハローワーク(公共職業安定所)

◆縁故、家業など

6 その他

⇒◆通信制高等学校・サポート校、自分の目指す夢の実現に向けた進路選択

Ⅲ 高等学校進学について

高等学校の種別（特徴）

1 公立(国立)・私立の違い①「教育方針」

- (1) 公立高校は、各都道府県の教育方針に基づいた教育を行っています。学科や学力による教育内容の差はあるものの、同じ学科で同レベルの学校では、学校ごとの教育方針の違いは私立ほどにはありません。
- (2) 国立高校は、設置されているのが一部の都府県に限られます。国立大学の付属校として、教育に関する研究・実験に協力することを主な目的としています。教育実験校という要素も強く、個性的な教育を実践しています。学校ごとに教育方針は違ってきますが、全体的に自主性を尊重する学校が多く、特別な受験指導や国立大学への入学優遇制度も限られている場合が多いです。
- (3) 私立高校は、創立者の「建学の精神」「教育理念」に基づき、学校ごとに独自の教育を行っています。そのため、大学の系列校や宗教系の学校など様々なタイプの学校があり、教育方針や指導方法などは学校による違いが多くあります。生徒によっては、学校が合わないということも起きやすいと言えます。

2 公立(国立)・私立の特徴②「選抜方法」

- (1) 公立高校の場合、国語・数学・英語・社会・理科の5教科の学力検査で、全高等学校共通の検査問題です。加えて、学校設置検査（面接・作文・自己表現等・高校が独自に実施する検査）が課されます。
- (2) 私立高校は、国語・数学・英語の3教科による入試の高校が多く、試験問題も各校がそれぞれ独自に作成するため出題傾向や問題の難易度も学校ごとに大きな差が見られます。
最近では5教科（国語・数学・英語・理科・社会）による入試もあります。
- (3) 国立高校は公立高校と同様に5教科による試験が一般的ですが、試験問題は学校独自の作成です。これまで難易度の高いものが出題されています。

3 単位制高等学校とは

単位制高等学校は、学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高等学校です。昭和63年度から定時制・通信制過程において設置が可能となっています。単位制高等学校の特色としては、

- ・自分の学習計画に基づいて、自分の興味、関心等に応じた科目を選択し学習できること。
 - ・学年の区分がなく、自分のペースで学習に取り組むことができること。
- などが挙げられます。

4 学科による違い

高等学校では、学科によって学習内容も大きく異なり、卒業後の進路も変わってきます。したがって、志望校を選ぶ場合、まず学科の内容や特色を知って、高等学校ではどの学科で学習したいのかを考えることが必要になってきます。高等学校の学科は、大きく分けると4つのタイプがあります。

普通科

一般的教養である普通科目を中心に学習する

国語・数学・英語・社会・理科といった普通科目を中心にしてバランスよく学習し、大学・短大を目指す人が多い学科です。受験に備え、高等学校2年か高等学校3年から文系と理系に分かれて学習をする学校が多いようです。

最近では、普通科の中に英語コースや理数コースなど、一部の教科を重点的に学習できる「コース」や「類型」を設置する学校も増えてきています。コースや類型は高等学校入学時から分かれている場合も多く、学習内容は専門学科に近いといえます。英語系や理数系の他にも、芸術系、体育系、福祉系、情報系などのコースや類型もあります。各コースの名称は、各学校により様々です。内容をよく確認しましょう。

専門学科

専門科目を多く学習し、得意分野を伸ばす

普通科目を学びながら、学科に関連した科目を重点的に学習する学科です。例えば、英語科では英語、理数科では数学と理科の授業時数が多く、普通科より専門的な内容を学習することができます。

学科に関連した科目を基礎からじっくりと学習できるので、専門を生かした大学の学部に進みたい人には、特に向いています。他に、国際系、芸術系、体育系などの学科があります。

専門学科(職業系)

職業にすぐに役立つ技術や知識を身につける

職業に関する専門科目を多く学習する学科です。普通科目も学習しますが、全体の3～4割程度は専門科目の学習で、実習が多いのも授業の特色です。専門の技術や知識を習得するので、卒業後にすぐに社会で活躍することができ、在学中に様々な資格を取得できるため就職にも有利です。

職業系の専門学科には、商業系、工業系、水産系、被服・家庭系、福祉系、看護系、農業・園芸系などの学科があります。また最近では、それぞれの枠を超えた情報科学科や環境工業科など新しい時代に対応した学科もいろいろと出てきています。

総合学科

普通科や専門学科の枠を超えた学習ができる

普通科と専門学科の枠を超えた第3の学科と言われ、最近全国で増えている学科です。履修科目の約半数が選択科目となり、普通科目から専門科目まで幅広い選択科目の中から、生徒一人ひとりが自分の学びたい科目を選んで独自の時間割を作ることができるのが特徴です。そのため、進学・就職のどちらの進路にも対応した学習を進めることが可能です。ただし、高等学校1年では共通科目を履修し、高等学校2年から選択になるカリキュラムが組まれています。

公立高等学校

別紙公立高等学校 P1～10 参照

私立高等学校

(1) 入試制度の種類

推薦入試	単願推薦	中学校長の推薦を必要とし、第1志望の私立高等学校に関して、 合格したら必ず進学することを確約する 形で受験する方法。
	併願推薦	中学校長の推薦を必要とし、第2志望以降の私立高等学校に関して、合格したとしても、その受験校の入学の権利を確保したまま他の高校の受験を認める形で受験する方法。基準は単願推薦の制度に比べ若干高くなる傾向にある。さらに、公立高等学校の発表まで手続きを待ってもらうために（延納）、一時納入金が必要になる場合もあるので注意が必要。
	自己推薦	中学校長の推薦は必要ではなく、本人または保護者の責任で行う推薦方法。
一般入試	単願一般	第1志望の私立高等学校に関して、 合格したら必ず進学することを確約する 形で受験する方法。一般入試に比べ優遇措置が取られる。
	併願一般	第2志望以降の私立高等学校において、その受験校の入学の権利を確保したまま他の高校の受験を認める形で受験する方法。公立高等学校の発表まで手続きを待ってもらうために（延納）、一時納入金が必要になる場合もあるので注意が必要。
	一般入試	受験に制限なし（中学校と高校の相談なし）

※学校ごとに「推薦」や「A日程」、「優遇」など受験の種類や名称が異なります。各学校の要項等をご確認ください。

※**推薦は原則一人一校です。第1希望の推薦制度を2つの学校で活用することや、第2希望限定の併願制度を複数の学校で活用することはできません。**志望する高等学校の入試制度をよく確認し、面談の際には、担任と十分相談してください。

※**併願推薦については、第2志望限定の場合や、第2志望以下（第3希望や第4希望など）でも可能な場合など、高校ごとに条件が異なります。十分な確認をお願いします。**

(2) 推薦制度

推薦制度とは、入学後も十分な活躍が期待されると思われる生徒を、**中学校の校長が推薦**し、一般入試とは区別して入試を行う制度です。高等学校ごとに細かく推薦基準を設け、それらの諸条件を満たす第1希望の生徒に対し、一般受験の前に入試を行うものです。高等学校によっては第1希望制度として実施しているところもあります。面接や作文さらに中学校での実績などをもとに、総合的に判断されるものです。

◎推薦を希望する生徒のあるべき姿

- ① その高校に入学を希望し、動機が明確であること。
- ② 日常の生活態度が良好で、その高校の基準に合う生徒であること。
- ③ 保護者の理解と協力が得られ、3年間の高校生活の就学が約束されていること。
- ④ 明海中学校として推薦するにふさわしい生徒であること。

◎推薦制度の基準

- ① 中学校長の推薦を必要とする。(推薦受験)
- ② 日常の生活態度が良好で模範となる生徒。
(授業態度、基本的な生活習慣、出欠席、当番活動(清掃活動等))
- ③ 学習の記録(通知表、調査書)
- ④ その学校の教育方針に生徒・保護者の理解と協力が得られる。
- ⑤ 高校へ進学しても、高校生活で頑張ることが期待できる生徒。

※ 推薦とは、優れた人物を推薦することであって、合格の可能性を高める手段ではありません。また、推薦は保護者・生徒の希望や学級担任の判断によるものではなく、全校進路検討会議を経て、中学校が判断するものです。

※ 選考方法は、書類審査、面接、作文、適性検査など様々です。

◎推薦者の認定

- ① 3学年全生徒を対象に、進路集会で私立高等学校推薦受験に関する説明を行い、推薦受験対象条件を3年生に伝えます。
- ② 11月上旬に3学年職員で全生徒を対象に推薦についての検討を行い、過程と現状を確認し、11月下旬の全校進路検討会議で認定します。
- ③ 全校進路検討会議での認定結果は担任が本人に伝え、認定されなかった生徒に関しては、推薦受験以外の方法で受験します。
- ④ 部活動やクラブの推薦においては、高校側と中学校側顧問のみで話を進めるのではなく、進路指導主事、学級担任と連絡を密にとり方向性を決めていきます。ただし、中学校の推薦認定が必要となります。

(3) 具体例

A 高等学校

単願推薦：3年の1学期または2学期の5教科合計15または9教科合計27。併願推薦：5教科合計16。英語検定・漢字検定・数学検定等(特に3級以上)を加味する。

B 高等学校

単願推薦：3学年1学期・2学期のそれぞれの評定合計が次の基準をすべて満たしていること。

- ・ 3教科(英数国)の合計が●●以上であること。5教科(英数国理社)の合計が▲以上であること。9教科合計が■以上で、各教科の評定に1・2がないこと。
- ・ 欠席が3年間で20日以内であること。

※成績は3教科、5教科、9教科の通知表の成績を基準とする高等学校が多く、時期は3年次の1学期または2学期のもの、1・2学期どちらでも可能、あるいは前期または後期など学校によって様々です。

※この他にも学校ごとに様々な推薦条件があります。基準も単に学習成績だけでなく、部活動や委員会活動などの特別活動や各種検定など、様々な角度から受験生を見ていこうとしています。

(4) 注意事項

- ① 推薦制度を利用する場合、学校見学や学校説明会の参加を義務づけている高等学校もあります。
- ② 推薦制度を利用しても、必ず合格するとは限りません。合格率は学校や年度によって異なります。
- ③ 単願推薦の場合、合格したら、必ずその学校に入学しなければなりません。

入試相談

推薦等の優遇される制度の受験可否について、中学校と高校との間で話し合いをもつ機会を「入試相談」といいます。

各高等学校では、12月14日から入試相談が始まりますが、12月初旬から入試相談の電話予約が始まりますので、推薦入試を希望する場合には、2学期の三者面談までに決定しておいてください。

入試についての留意点

- (1) 私立高等学校は、受験日が重ならない限りは何校でも受験することはできます。しかし、連日の受験は精神的・肉体的にも負担が大きく、実力を十分発揮できなくなることも少なくありません。県内・都内ともに試験日が集中する時期がありますので、重ならないように十分な確認と計画をたててください。
- (2) 公立高等学校（1校）と私立高等学校（複数校）の両方を受検（受験）することは可能です。
- (3) 公立高等学校（県立・市立）は、受検日が同じですので1校しか受けることができません。合格者人数も定員人数と同じです。合格しても入学を辞退すると、定員割れや他の受験生が不合格になるということになります。そのため、公立高校は合格したら必ず進学するという前提で受検をしてください。
- (4) 市立高等学校の普通科は、各市ごとに志願対象が決まっています。
- (5) 推薦基準や入試内容に不安がある場合、私立高等学校が個別相談会を行っている場合があります。そこで推薦の基準について質問すると、具体的な内容がわかることがあります。

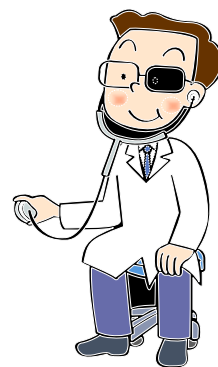
IV 高等専門学校（高専）

1 高等専門学校とは

この学校では、工業系などの専門的な学習をしようとする人達のための高等教育機関です。普通科の高校から大学の工学部に進学して7年間に学習することを、ここでは5年間にならしめて効率を高めるカリキュラムが組まれています。この学校を卒業した場合には、短大卒業と同様「準学士」となります。入学試験は、普通科などの高校とほとんど変わりません。また、卒業後、大学3年生に編入学することも可能な場合があります。

2 近隣の高等専門学校

- 国立 木更津工業高等専門学校（千葉・木更津市）など
- 私立 サレジオ工業高等専門学校（東京・町田市）
- ※都立 産業技術高等専門学校（東京・品川区、荒川区）



V 各種学校・専修学校

各種学校（幼稚園・小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・大学・短大以外）は、社会の要請や生徒の希望・適性などに応じて、比較的短期間に職業や実際の生活に必要な知識や技能を修得できる教育施設です。また、専修学校は、各種学校の中で入学資格や修業年限、年間の授業時数、生徒数、教員数、校舎の面積などの点で一定の要件を満たしていることを条件に、昭和51年に制度化された学校です。専修学校は、社会に出て仕事をするために必要な技術や知識を身につけることを目的とした学校です。専修学校は入学資格によって3つの課程に分かれています。

1 高校卒業以上の人を対象とした専門課程

この専門課程を持っている専修学校を専門学校と呼んでいます。

2 中学を卒業してすぐに入学できるのが高等課程です。

高等課程を持っている専修学校を高等専修学校と呼んでいます。

3 主に社会人を対象としているのが一般課程です。

この中で、高等専修学校というのは、専修学校のうちの高等課程を設置する学校の一般的呼称です。入学資格は中学校卒業またはそれと同等の学力を有する者となっており、中学校の教育を基礎に心身の発達に応じて、職業もしくは実際生活に必要な能力を育成し、または教養の向上を図ることを目的とする学校です。高等専修学校の修業年限は1年以上となっていますが、実際には1年制から3年制まで色々な課程があり、教育する技能の種類によって修業年限が決まります。

専修学校の特色のひとつは、幅広い分野の教育を実践的に行うという点にあります。文部科学省は、工業・農業・衛生・教育社会福祉・商業実務・服飾家政・文化教養の7つの分野に分類しています。しかしながら7つの分野すべてが高等専修学校で学べるわけではありません。（その多くは専門課程に設置されています）

4 高等課程で設置されている分野

- ◇ 教養・社会福祉分野（福祉職・幼稚園教員科・保育科・社会福祉科）
- ◇ 衛生分野（調理師・美容師・理容師）
- ◇ 服飾家政分野（服飾・洋裁科・和裁科・編み物科・デザイナー）
- ◇ 商業実務分野（ビジネス・簿記・タイプ・珠算・秘書科・キャビンアテンダント）
- ◇ 工業分野（情報処理・自動車整備・電気電子・建築製図測量）
- ◇ 文化・教養分野（デザイン・スポーツ・芸能・英会話・ビジネス英語・音楽科・写真・放送芸術）
- ◇ 農業分野（園芸科、造園科、バイオテクノロジー）
- ◇ 医療分野（看護、歯科衛生、柔道整復）

5 大学入学資格

文部科学省の指定を受けた専修学校高等課程の卒業生は大学入学資格が与えられます。

進学する学校の選択について

選択のポイント

（1）やりたい学習ができるか？

中学校卒業後の進学先においては、色々な学科やコースがあります。各学校・学科によって、勉強する内容がかなり異なります。したがって、進学したい学校を決めるには、まずどのような勉強がしたいのかを整理し、そうした勉強ができる学校を選んでいかななくてはなりません。

（2）進学先の卒業後の進路が将来の希望とあっているか？

自分の将来の夢を実現するために、どのような勉強が必要なのかを知ることが大切です。中学校卒業後の進路先の学校を卒業した後、どのようなところに進学、または就職しているのかをよく調べましょう。例えば、理系の大学に進学したいのであれば、理系大学進学者が多い高校へ進学するほうが自分の夢に近づくことができますし、就職したいのであれば、どのようなところに就職しているのかを調べて進路先を決定することが大切です。どんな勉強をしたいかは、将来の進路希望と関係してくるはずで、そのため、将来どうしていきたいかを考えることがとても重要になります。

(3) 教育方針や校風が合っているか？

それぞれ学校には、教育方針や校風というものがあり、各学校によって雰囲気も異なります。例えば、自主性を尊重する教育方針の学校と、しつけを重視する教育方針の学校では、校風が異なります。教育方針や校風が合わないと、学校になかなかなじめず、充実した学校生活を送ることができなくなります。自分の性格に合った教育方針や校風の学校を選ぶことがとても重要です。

(4) 取り組みたい部活動や行事があるか？

学校生活を楽しいものにするためにも、部活や学校行事は大切な要素のひとつです。テニスをやりたいと考えていたのに、入学してみたらテニス部がなかったり、海外でホームステイをしてみたいという希望を持っていても、入学してみるとそうした制度がなかったり、ということでは本末転倒です。部活動や学校行事などでやりたいことがある場合には、それらが盛んに行われているかどうかチェックする必要があります。

(5) 施設や設備が充実しているか？

施設や設備は整っていることに越したことはありません。ここで、特に確認していききたいのは、入学後、自分が取り組んでいきたいことに関する設備があるかどうかです。部活動で使用するグラウンドが校舎と離れた場所にあり、移動が必要となる場合があるなど、学校によって様々であるため、確認しておく必要があります。

具体的な施設・・・グラウンド、多目的ホール、図書室（自習室）、体育館など

(6) 自分の学力に合っている学校か？

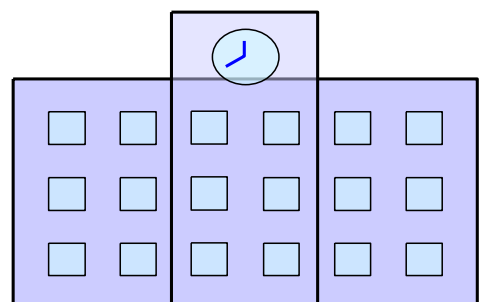
どんなに自分が行きたいと思っている学校でも、自分の学力よりはるかに高い学力の学校を受験しても、合格は難しいでしょう。たとえ合格しても、授業についていくのが大変となってしまう可能性があります。逆に、学力的に余裕がありすぎる学校に入学した場合には、授業の内容が物足りないなど、学力を伸ばす大切な機会を失うことになりかねません。学習面においても、入学後の自分をイメージしておくことが大切です。

(7) 通学時間や通学方法はどうか？

3年間無理なく通学することができるか、交通手段に不便はないかも大切なチェックポイントです。1度や2度ではなく、3年間通うので、無理のない通学時間を考えて進学先を選択しましょう。また、実際に通学する時間の交通状況の確認もしておくといいでしょう。

(8) 学費などの費用はどうか？

入学金や授業料など、いくらかかるのかも大切なチェック項目です。国立や公立、私立とでは異なりますので、各学校のホームページなどで確認した上で、ご家庭で相談してください。



VI 学校説明会・学校訪問について

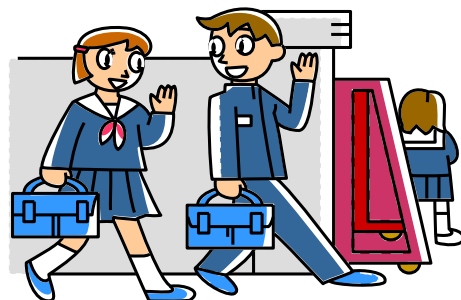
1 説明会の内容

高等学校によっては1学期から説明会が始まっています。これから参加をする方も多いため、ここで簡単にその内容を紹介します。

口頭による説明内容の例	配布される資料の例
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の沿革 ・教育方針 ・カリキュラムの特徴 ・各教科の時間数 ・コース、クラス編制 ・進路状況 ・進学実績 ・大学の指定校推薦枠 ・推薦基準 ・入試方法、日程 ・前年の入試結果（倍率、平均点） ・面接の方法 ・受験料、入学金、その他の費用 ・学校行事、修学旅行、ホームステイ ・施設・設備 ・部活動、クラブ活動 ・制服、校則 	<p>《購入する場合があります》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校案内（パンフレット） ・募集要項など ・入試の方法、日程 ・願書・・・※1 ・調査書・推薦書等・・・※2 ・卒業生の進路状況 ・入試問題集 <p>※1 願書・・・本人が記入します。自宅保管。 公立・・・中学校が準備 私立・・・高校からもらう（買う） WEBからダウンロード</p> <p>※2 調査書・推薦書等・・・担任が記入します <u>11月末までに、担任へ提出してください。</u> WEBからダウンロード</p> <p>どちらも丁寧に持ち帰り、折ったり、汚したりしないようにしましょう。</p>

2 説明会に行く際の注意点

- (1) 親子で参加しましょう。保護者様と本人とでは、学校を見る観点が異なります。より客観的に判断できるように、多くの目で見学しましょう。
- (2) 高等学校ガイドや学校のホームページなどで知りたいことや行き方を事前に確認しておきましょう。ある程度の下調べは必要です。説明会で何を知りたいのか整理しておきましょう。
- (3) 受験する学校はすべて入学するつもりで調べましょう。第1希望、第2希望の学校をしっかりと調べるのは当たり前ですが、受験する高校はすべてしっかりと調べる必要があります。受験するからには、本人が入学することを前提に考え、実際に目で確認してきましょう。
- (4) 各校の方針を具体的に把握しましょう。最近は何の高等学校も特色作りを力を入れています。しかし、ポスターやパンフレットの「個性の尊重」「国際化」「進学重視」というイメージだけで判断するのではなく、それぞれの説明をよく聞いて、各学校が具体的にどのようなことが教育課程に組み込まれているのかなどを把握しましょう。
- (5) 施設だけでなく生徒の様子も見ましょう。きれいな校舎や整った設備に目を奪われることもありますが、実際に通っている生徒の様子を見ることも忘れないようにしましょう。
- (6) 高校の先生はいろんなところで皆さんを見ています。
いつ、どこで見られてもいい身だしなみと態度で臨みましょう。



3 学校訪問で気をつけたいこと

★1 学期～夏休み中 最低3校以上は、高等学校訪問に行くようにしてください。

(1) 必ず自分の目で確かめましょう。

志望校を決める場合、興味のある学校には実際に行って自分の目で確かめることが大切です。文化祭や体育祭などの行事を見学しに行くのもおすすめですが、私立高等学校はもちろんのこと、最近では公立高等学校でも3年生や保護者の方に学校をよく知ってもらおうと、学校説明会、学校見学会、体験入学、オープンスクールなど、学校をPRする機会をたくさん設けています。中でも学校説明会は、教育内容から入試関連のことまで、受験生が知りたいさまざまな情報を一度に得られる貴重なチャンスです。

(2) 下調べをしておきましょう。

訪問までに、訪問先の所在地、電話番号、交通手段、教育方針や学科の種類、卒業後の進路など、パンフレットやインターネットで調べて訪問しましょう。下調べをして疑問点をはっきりさせて臨むことで高等学校の情報を効率よく集めることができます。また、個別相談コーナーなどを利用することも良いでしょう。直接訪問先の先生に話を聞くことで、パンフレットやホームページからは得られないような情報が手に入るかもしれません。

(3) 申し込み方法を確認しましょう。

高等学校によってはすでに始まっていますが、夏休みから10月ごろがピークになります。多くの場合は申し込みが不要ですが、申し込みが必要な学校や、中学校で一括して申し込まなければならない場合があります。事前によく確認をして参加してください。また、個人による申し込みの場合、各自高等学校へ連絡を取ってください。

事前に報告しなければならない場合には人数の関係上、期日を過ぎての参加は認めてもらえないこともあります。期限を守り、「友達が行くから自分も行く」といった形ではなく、自分の意志で参加するようにしましょう。

また、こうした機会でなくとも、見学したい高校に生徒・保護者から連絡を入れることで対応してくれる高校もあります。必ず、事前に連絡を入れ、高校側からの指示に従ってください。さらに、一部の私立高校では、第1志望の場合に生徒もしくは保護者同伴による説明会参加を義務づけているところもありますので、十分に注意をしてください。

(4) 身なりを整え、説明会にふさわしい服装・態度で参加しましょう。

服装(制服)、頭髪、持ち物、言葉遣いなどを高等学校の先生はよく見えています。一人の印象が、明海中学校全体のイメージを作ります。責任をもった言動をしましょう。

また、訪問する際には、「よろしくお願いします」「ありがとうございました。」などきちんと挨拶をしましょう。

[服装]=明海中学校制服(式に準ずる服装)

[持ち物]=上履き、IDカード、筆記用具、メモ帳、その他事前の指示があったもの

VII 就職について

就職

1 就職指導について

(1) 就職指導の学校方針

- ① 進路指導のひとつとして取り扱い、就職することの大切さ、困難さを学びます。
- ② 個の適性と能力に適した就職選択ができるよう、指導の充実を図ります。
- ③ 就職に必要な力をつけていきます。

(2) 具体的な指導内容

- ① 二者面談等で具体的に話を進めます。
- ② 勤務の厳しさを学びます。(遅刻、欠席等注意する。進学と同様であること)
- ③ 勤務内容を具体的に知るため、随時職場見学をします。

以上のことを念頭に置き、就職指導を進めていきます。

2 就職および職業決定の手続き

職業を決める際には、本人の適正・性格にあったところを選ぶことが必要です。職業適性検査やレディネステストなどを行い、資料の一つとして考えていきます。

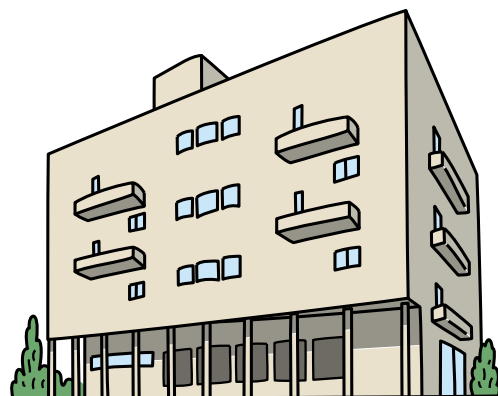
3 企業決定までの手順

- (1) 進路希望調査 (10月下旬)
- (2) 就職希望生徒に職業適性検査・職業レディネステストを実施
- (3) 検査の結果をもとに職業相談票を作成 (担任)
- (4) 市川職業安定所の方を招き、相談票をもとに生徒・保護者・担任・職安担当者の4人で職業相談を実施
- (5) 訓練校見学を実施 (11月～12月上旬)
- (6) 12月20日頃応募書類を職安に提出
- (7) 令和9年1月1日以降選考開始

※職業相談を新たに受けたい人は、保護者同伴で12月より職業安定所へ出向いて相談をする。

※方法と手続きの時期

10月 職業適性検査 → 11月 職業安定所との相談 → 1月～ 事業所(会社)選択 → 面接



VIII 職業訓練校＝高等技術専門学校

1 高等技術専門学校とは

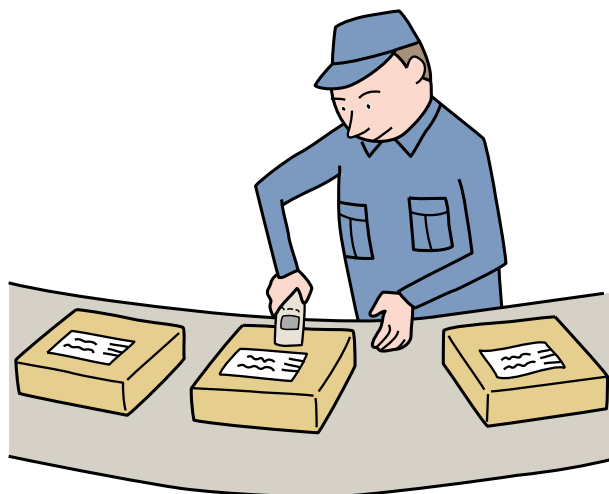
(1) 主として、中学校・高等学校を卒業して、これから就職しようとする人や、転職して新しい職業に就こうとする人が、就職に必要な技能や知識を身につけて、優秀な技能者として豊かな生活を送るために必要ないろいろな訓練をしてくれる学校です。

(2) 修了後、就職先を探し、就職します。

2 主な高等技術専門学校(中学校卒業程度の科目)

◎市原テクノスクール	塗装科	(20名)	1年
	ビルメンテナンス科	(15名)	6ヵ月
	自動車整備科	(23名)	2年
	電気工事科	(30名)	1年
◎船橋テクノスクール	非破壊検査	(10名)	6ヵ月
	金属加工科	(10名)	6ヶ月
	機械技術科	(12名)	1年
	冷凍空調設計科	(20名)	1年
	システム設計科	(20名)	2年
	I o Tシステム科	(20名)	2年

※訓練校関係は、市川職安でまとめを行っています。出願書類は12月中旬頃学校単位でまとめて職安に提出します。



IX 資料

資料1	令和9年度浦安市立明海中学校3学年進路年間予定	P18～19
資料2	令和8年度浦安市立明海中学校卒業生進路先一覧	P20
資料3	公立高等学校調査書様式	P21
資料4	調査書活動面の記載について	P22

- ※ 令和9年度浦安市立明海中学校3学年進路年間予定は現時点での予定のため、日程の変更が生ずる可能性があります。
- ※ 進路面談は随時行います。
- ※ 私立高等学校の入試日程は未定のため、例年の時期を書いています。

令和8年度浦安市立明海中学校 進路年間計画

4		5		6		7		8		9	
月日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
3月31日	火										
4月1日	水		5月1日	金	3年生活アンケート 全国学力状況調査(英語話すことテスト)	6月1日	月		7月1日	水	
4月2日	木		5月2日	土		6月2日	火	音楽鑑賞教室(1年)PM	7月2日	木	
4月3日	金		5月3日	日	憲法記念日	6月3日	水	定期試験諸活動停止(~12日)	7月3日	金	
4月4日	土		5月4日	月	みどりの日	6月4日	木	尿二次検査	7月4日	土	
4月5日	日		5月5日	火	こどもの日	6月5日	金	歯科検診(1年・2B)9:00~	7月5日	日	
4月6日	月		5月6日	水	振替休日	6月6日	土		7月6日	月	短縮5時間授業 三者面談(3年)・面談期間(1・2年)
4月7日	火	着任式・始業式 入学式準備 第1回進路希望調査配布	5月7日	木	校外学習業者選定委員会	6月7日	日		7月7日	火	短縮5時間授業 三者面談(3年)・面談期間(1・2年)
4月8日	水	小学校入学式 入学式練習	5月8日	金	部活動保護者会 心音心電図検査(1年)11:40~14:10	6月8日	月	学習会① 第2回進路集会	7月8日	水	短縮5時間授業 三者面談(3年)・面談期間(1・2年)
4月9日	木	中学校入学式 1年保護者会 小学校保護者会(PM)	5月9日	土		6月9日	火	学習会② 3DSスコリオ検診(1年)13:10~14:40	7月9日	木	短縮5時間授業 三者面談(3年)・面談期間(1・2年)
4月10日	金	給食開始・保護者会(2年・3年)短縮5時間 新入生歓迎会	5月10日	日		6月10日	水		7月10日	金	短縮5時間授業 三者面談(3年)・面談期間(1・2年)
4月11日	土		5月11日	月	体育祭練習開始	6月11日	木	定期テストI+1(学活)	7月11日	土	
4月12日	日		5月12日	火	緑の羽募金	6月12日	金	定期テストI 4時間授業 ⑤園小中合同引き渡し訓練	7月12日	日	
4月13日	月	個人写真撮影 仮入部開始 第1回進路希望調査〆切	5月13日	水	浦教研(代議員会・部会研修)	6月13日	土		7月13日	月	
4月14日	火	身体測定②③	5月14日	木	体育祭予行 心音心電図救済	6月14日	日		7月14日	火	
4月15日	水	内科検診(3年・2A・J) 9:00~	5月15日	金	応援団お披露目会⑤	6月15日	月	千葉県民の日	7月15日	水	1学期保護者会
4月16日	木	専門委員会①	5月16日	土	体育祭	6月16日	火		7月16日	木	給食終了
4月17日	金	仮日課開始 中央委員会	5月17日	日	予備日	6月17日	水	浦教研	7月17日	金	短縮授業3時間+終業式 定期テストII範囲表配付
4月18日	土		5月18日	月	振替休業	6月18日	木	第2回進路希望調査配布	7月18日	土	
4月19日	日		5月19日	火		6月19日	金	中央委員会III 到達度テスト②(3年) 尿二次検査(予備日)	7月19日	日	
4月20日	月		5月20日	水	尿一次検査(予備日) 眼科検診(全学年) 13:15~	6月20日	土	土曜参観④⑤・3年進路保護者会	7月20日	月	海の日
4月21日	火	専門委員会②	5月21日	木	第1回進路集会	6月21日	日		7月21日	火	夏季休業
4月22日	水	正規日課開始 内科検診(1年・2B) 9:00~	5月22日	金		6月22日	月	振替休業	7月22日	水	
4月23日	木	生徒会委員長任命式 中3全国学力・学習状況調査	5月23日	土	明海小学校運動会	6月23日	火	専門委員会	7月23日	木	
4月24日	金	小・中合同避難訓練③ 仮入部最終日 尿一次検査(全学年)	5月24日	日		6月24日	水	3DSスコリオ救済日	7月24日	金	
4月25日	土		5月25日	月		6月25日	木	第2回進路希望調査〆切	7月25日	土	
4月26日	日		5月26日	火	中央委員会・陸上部交流期間(~29日) 歯科検診(3年・2A・J組) 9:00~	6月26日	金	部活動壮行会⑤(体育館)	7月26日	日	
4月27日	月		5月27日	水	試験範囲表配付	6月27日	土		7月27日	月	
4月28日	火		5月28日	木	生徒総会⑥(体育館) 専門委員会 耳鼻科検診(1年)9:30~	6月28日	日		7月28日	火	
4月29日	水	昭和の日	5月29日	金		6月29日	月	第1回個人成績確認票配布(1・2年次)	7月29日	水	
4月30日	木	到達度テスト①(3年)	5月30日	土		6月30日	火	中学校避難所運営訓練(防災教育)	7月30日	木	
			5月31日	日					7月31日	金	
									8月1日	土	
									8月2日	日	
									8月3日	月	
									8月4日	火	
									8月5日	水	
									8月6日	木	
									8月7日	金	
									8月8日	土	
									8月9日	日	
									8月10日	月	
									8月11日	火	山の日
									8月12日	水	
									8月13日	木	
									8月14日	金	
									8月15日	土	
									8月16日	日	
									8月17日	月	
									8月18日	火	
									8月19日	水	
									8月20日	木	
									8月21日	金	うらす園・小・中連携の日 職員会議
									8月22日	土	
									8月23日	日	
									8月24日	月	
									8月25日	火	
									8月26日	水	
									8月27日	木	
									8月28日	金	
									8月29日	土	
									8月30日	日	
									8月31日	月	

9月1日から
①入試要項コピー
②資格・検定コピー
③表彰コピー
④推薦書 ⑤調査書
を随時回収

令和8年度浦安市立明海中学校 進路年間計画

10		11		12		1		2		3		
日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事	
10月1日	木	学校公開・授業参観	11月1日	日	創立記念日 ふるさと浦安作品発表会	12月1日	火	三者面談(1・2年短縮5時間授業)3年短縮5時間	1月1日	金	2月1日 月	生活アンケート
10月2日	金	研究発表	11月2日	月	生活アンケート 3年:三者面談④	12月2日	水	三者面談(1・2年短縮5時間授業) 3校1園作品展 3年短縮5時間	1月2日	土	2月2日 火	公立高校入試出願書類提出期間 専門委員会 給食カット
10月3日	土	渋谷こども園運動会 午前中 (グラウンド・体育館使用)	11月3日	火	文化の日	12月3日	木	三者面談(1・2年短縮5時間授業)3年短縮5時間	1月3日	日	2月3日 水	浦教研 定期テスト諸活動停止(~12日) 公立高校入試出願書類提出期間
10月4日	日		11月4日	水	3年:三者面談⑤	12月4日	金	三者面談(1・2年短縮5時間授業) 3年短縮5時間	1月4日	月	2月4日 木	第4回定期試験(3年) 公立高校入試出願書類提出期間
10月5日	月	学校公開 授業参観	11月5日	木	定期テスト(3年)	12月5日	土		1月5日	火	2月5日 金	第4回定期試験(3年) 新入生保護者説明会
10月6日	火	学校公開・授業参観 前期専門委員会(最終)	11月6日	金	定期テスト(3年)	12月6日	日		1月6日	水	2月6日 土	
10月7日	水	学校公開 授業参観 小中音楽会(3年)AM	11月7日	土		12月7日	月		1月7日	木	2月7日 日	
10月8日	木	到達度テスト④	11月8日	日		12月8日	火	芸術鑑賞教室	1月8日	金	2月8日 月	学習会①
10月9日	金	通知表配付 第4回進路希望配布	11月9日	月	第5回進路希望調査バッチ	12月9日	水	修学旅行業者選定委員会	1月9日	土	2月9日 火	公立高校入試志願変更 学習会②
10月10日	土	第19回明海の丘まつり	11月10日	火		12月10日	木		1月10日	日	2月10日 水	第4回定期試験(1・2年) 公立高校入試志願変更
10月11日	日		11月11日	水	試験前諸活動停止期間(~20日) 3年テスト返却日課	12月11日	金		1月11日	月	2月11日 木	建国記念日
10月12日	月	スポーツの日	11月12日	木		12月12日	土	浦安市文化部フェスティバル	1月12日	火	2月12日 金	第4回定期試験(1・2年)5時間授業
10月13日	火	振替休日	11月13日	金		12月13日	日		1月13日	水	2月13日 土	卒業式前日準備 公立2次募集検査 3年生給食終了
10月14日	水	後期日課開始	11月14日	土	第40回はっぴい発表会	12月14日	月	3年入試相談	1月14日	木	2月14日 日	
10月15日	木		11月15日	日		12月15日	火		1月15日	金	2月15日 月	テスト教済①
10月16日	金	第4回進路希望調査バッチ	11月16日	月	学習会① はっぴい発表会振替休業	12月16日	水		1月16日	土	2月16日 火	テスト教済② 公立高校入試1日目 給食カット
10月17日	土		11月17日	火	学習会②	12月17日	木	到達度テスト⑤(3年)	1月17日	日	2月17日 水	公立高校入試2日目 テスト返却開始 給食カット
10月18日	日		11月18日	水		12月18日	金		1月18日	月	2月18日 木	3年:テスト返却日課
10月19日	月		11月19日	木	定期テスト(1・2年)保育実習3A	12月19日	土		1月19日	火	2月19日 金	公立高校入試追検査受付 中央委員会X
10月20日	火	専門委員会 I	11月20日	金	定期テスト(1・2年)保育実習3B 中央委員会 テスト教済①5時間授業	12月20日	日		1月20日	水	2月20日 土	
10月21日	水	浦教研	11月21日	土		12月21日	月		1月21日	木	2月21日 日	春分の日
10月22日	木	中央委員会	11月22日	日		12月22日	火	給食最終日	1月22日	金	2月22日 月	公立高校入試追検査受付 給食カット
10月23日	金	生徒会任命式	11月23日	月	勤労感謝の日	12月23日	水		1月23日	土	2月23日 火	天皇誕生日
10月24日	土	小学校運動会	11月24日	火	テスト教済②	12月24日	木	冬季休業	1月24日	日	2月24日 水	公立高校入試追検査受付
10月25日	日		11月25日	水	進路検討会議 1・2年テスト返却開始	12月25日	金		1月25日	月	2月25日 木	公立高校追検査 専門委員会
10月26日	月	合唱祭前日準備	11月26日	木	3年:進路面談 浦安市子ども作品展(搬入・審査)	12月26日	土		1月26日	火	2月26日 金	3年生を送る会
10月27日	火	①②授業③~合唱祭	11月27日	金	専門委員会	12月27日	日		1月27日	水	2月27日 土	
10月28日	水	3年:三者面談①	11月28日	土	浦安市子ども作品展	12月28日	月		1月28日	木	2月28日 日	
10月29日	木	専門委員会 II 3年三者面談②	11月29日	日	浦安市子ども作品展	12月29日	火		1月29日	金	中央委員会	
10月30日	金	3年:三者面談③	11月30日	月	三者面談(1・2年短縮5時間授業) 浦安市子ども作品展	12月30日	水		1月30日	土		
10月31日	土	浦安市アンサンブル発表会				12月31日	木		1月31日	日		

①入試要項コピー ②資格・検定コピー
③表彰コピー ④推薦書 ⑤調査書 等
11月25日まで

合唱鑑賞

令和 8 年度 進路先一覧

公立高校	県内私立高校
千葉県立千葉東高等学校 千葉県立千葉工業高等学校 千葉県立検見川高等学校 千葉県立幕張総合高等学校 千葉県立船橋高等学校 千葉県立船橋東高等学校 千葉県立船橋啓明高等学校 千葉県立国分高等学校 千葉県立行徳高等学校 千葉県立市川東高等学校 千葉県立浦安高等学校 千葉県立浦安南高等学校 千葉県立小金高等学校 船橋市立船橋高等学校 松戸市立松戸高等学校	昭和学院高等学校 専修大学松戸高等学校 千葉日本大学第一高等学校 東海大学付属浦安高等学校 東京学館浦安高等学校 東葉高等学校 日本大学習志野高等学校 八千代松陰高等学校 和洋国府台女子高等学校
都内私立高校	県外・通信・高専・その他
関東第一高等学校 京華高等学校 國學院高等学校 駒込高等学校 淑徳巣鴨高等学校 女子美術大学附属高等学校 正則学園高等学校 東洋高等学校 豊島学院高等学校 二松学舎大学附属高等学校 朋優学院高等学校 明治学院高等学校 明治大学附属中野高等学校 安田学園高等学校 立正大学附属立正高等学校 早稲田大学高等学院 慶應義塾高等学校 法政大学国際高等学校 法政大学第二高等学校	山梨学院高等学校 京都橘高等学校 学校法人石川高等学校 白樺学園高等学校 川崎医科大学附属高等学校 クラーク記念国際高等学校 N高等学校 S高等学校 東京都立産業技術高専高等学校 ハミルトンボーイズハイスクール

調 査 書

受検番号	ふりがな		性別	学籍の記録	平成・令和 年 月 入学・転入学・編入学						
	氏名				平成・令和 年 月 卒業見込み・卒業						
教科の学習の記録	教科 学年	必修教科の評定									
		国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 ・ 家 庭	外 国 語	合 計
	第1学年										
	第2学年										
	第3学年										
	全学年の計										
	備考										
特別活動の記録	学級活動										
	生徒会活動										
	学校行事										
	部活動等の記録										
	特記事項										
<p>本書の記載事項に誤りがないこと及び貴校に応募する資格があることを証明する。</p> <p style="text-align: right;">中学校長 印</p> <p>令和 年 月 日 記載責任者 職 氏名</p>											

調査書活動面の記載について

項目	要録登録の仕方
学 級	<p>学級係＝◆学級委員長、◆副学級委員長、◆議長、◆書記、◆号令係、◆班長 ◆清掃リーダー ◆〇〇係 (〇〇＝国語、社会、数学、理科、音楽、美術、技術・家庭、保健体育、英語、学 活・道徳・総合)</p> <p>特別係＝◆生き物係、◆進路係、◆レク係等</p>
生徒会	<p>◆生徒会本部 (会長)、◆生徒会本部 (副会長)、◆生徒会本部 (書記)、◆生徒会本部 (会計)、◆生 徒会本部 (書記) ◆〇〇委員 委員長、◆〇〇委員 副委員長 ◆学年生活委員、◆保健委員、◆学習図書委員、◆整美委員、◆給食委員、◆放送委員 ◆選挙管理委員、◆選挙管理委員長</p>
学校行事	<p>◆体育祭実行委員、◆体育祭実行委員長、◆体育祭副実行委員長、◆体育祭応援団、 ◆体育祭応援団団長、◆体育祭決勝審判係 ◆体育祭用具係 ◆体育祭放送係 ◆合唱祭実行委員、◆合唱祭実行委員長、◆合唱祭副実行委員長、◆合唱祭実行委員 ◆合唱祭指揮者、◆合唱祭伴奏者、◆合唱祭伴奏者賞 全校、学年合唱の指揮伴奏者 ◆3年生を送る会実行委員、◆3年生を送る会実行委員長 ◆入学式代表指揮者、◆入学式代表伴奏者、◆入学式誓いの言葉 ◆卒業式代表指揮者、◆卒業式代表伴奏者、◆卒業式送辞、◆卒業式答辞 ◆校外学習〇〇 (〇〇＝実行委員、(副)実行委員長) _____(宿泊学習、修学旅行も同様)</p>
部活動	<p>◆〇〇部、◆〇〇部 部長 ◆女子ソフトテニス部 (～9月) 文化総合部 (10月～) ◆特設部 (〇〇)・・・〇〇＝(小中体連主催の)水泳・卓球・剣道・新体操等の大会結果は、この 「部活動」欄に記載する。(小中体連主催以外(空手・フェンシング・バトン等)は特記事項へ) ・個人競技・団体競技問わず、浦安大会、市川浦安大会での表彰、県大会以上については、出場から 記載する。 例 市川浦安大会優勝(県大会出場)や市川浦安大会優勝(県大会ベスト8) ・全部員を記載するのではなく、その大会での登録メンバー(正選手・補欠選手・マネージャー等含 む)のみ記載する。 ※ ベンチに入れず、応援だけの部員は記載対象外</p>
特記事項 (その他)	<p>・「その他」の欄は、①検定 ②資格 ③運動能力証、 ④表彰関係の順で記載する。 ・検定・資格等は3級以上を記載する。 ・証明書や証書がないなど、確認のとれないものは記載しない。 ・次のようなもの記載する。 ◆珠算検定2級、◆珠算・電卓実務検定2級・表彰関係。 ・ボランティア活動は、保護者からの「活動記録確認票」に記載されたもののみ載せる。 ・過去に記載した例 ◆令和〇年度 口腔保健 健歯の部 優秀、◆社会を明るくする運動街頭キャンペーン参加、◆人権 週間街頭PR活動参加、◆令和〇年度 第〇回 浦安市平和使節団 青少年ピースフォーラム参加、 ◆歳末助け合い運動街頭募金活動参加、◆暗算検定初段、◆赤い羽根街頭募金活動参加、◆人権作文 市川支局奨励賞、◆浦安市青少年健全育成標語コンクール優秀賞、◆令和〇年度 平和学習青少年派 遣事業参加、◆ふるさとうらやす立志塾参加、◆ヤマハ音楽能力検定 エレクトーン演奏グレード6 級 ◆校外での習い事や、クラブチーム(野球・サッカー等)の大会結果は、記載する。(3年のみ)</p>

別紙 P1～10

公立高等学校

千葉県公立高等学校の通学区域

1. 県立高等学校の通学区域

県立高等学校の全日制普通科には、志願に関して次のような学区制限があり、その学区内の高等学校を志願しなければなりません。

- (1) 志願者及び保護者の居住する市町村が属し、かつ志願者の在籍あるいは卒業した中学校の所在する市町村が属する学区
- (2) (1)に掲げる学区に隣接する学区

* 女子校（千葉女子高校及び木更津東高校）の2校、専門学科、総合学科、定時制及び通信制の課程には志願に関する学区制限はありません。県内全域から志願することができます。

各市町村の学区

第1学区	千葉市
第2学区	市川市 船橋市 松戸市 習志野市 八千代市 浦安市
第3学区	野田市 柏市 流山市 我孫子市 鎌ヶ谷市
第4学区	成田市 佐倉市 四街道市 八街市 印西市 白井市 富里市 印旛郡内全町
第5学区	銚子市 香取市 匝瑳市 旭市 香取郡内全町
第6学区	東金市 山武市 大網白里市 山武郡内全町
第7学区	茂原市 勝浦市 いすみ市 長生郡内全町村 夷隅郡内全町
第8学区	館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町
第9学区	木更津市 市原市 君津市 富津市 袖ヶ浦市

志願者の受験可能学区（全日制普通科）

居住学区	高 校 所 在 学 区								
	第1学区	第2学区	第3学区	第4学区	第5学区	第6学区	第7学区	第8学区	第9学区
第1学区	●	●		●		●	●		●
第2学区	●	●	●	●					
第3学区		●	●	●					
第4学区	●	●	●	●	●	●			
第5学区				●	●	●			
第6学区	●			●	●	●	●		
第7学区	●					●	●	●	●
第8学区							●	●	●
第9学区	●						●	●	●

2. 市立高等学校の通学区域

市立高等学校の志願については、下記の学区制限があります。

千葉市立千葉	普通	千葉市内のみ可能（本人及び保護者が千葉市内に居住する者）
	理数	県内全域から可能
千葉市立稲毛	普通	千葉市立稲毛国際中等教育学校に移行の為、令和7年度入試より募集停止
	国際教養	
習志野市立習志野	普通	第1・第2・第3・第4学区の市町（県立高校と同じ扱い）
	商業	県内全域
船橋市立船橋	普通	第1・第2・第3・第4学区の市町（県立高校と同じ）
	商業	県内全域
	体育	県内全域
松戸市立松戸	普通	第1・第2・第3・第4学区の市町（県立高校と同じ）
	国際人文	県内全域
柏市立柏	普通	第2・第3・第4学区の市町（県立高校と同じ）
	ｽﾎｰﾂ科学	県内全域
銚子市立銚子	普通・理数 (くくり募集)	第4・第5・第6学区の市町（県立高校と同じ）

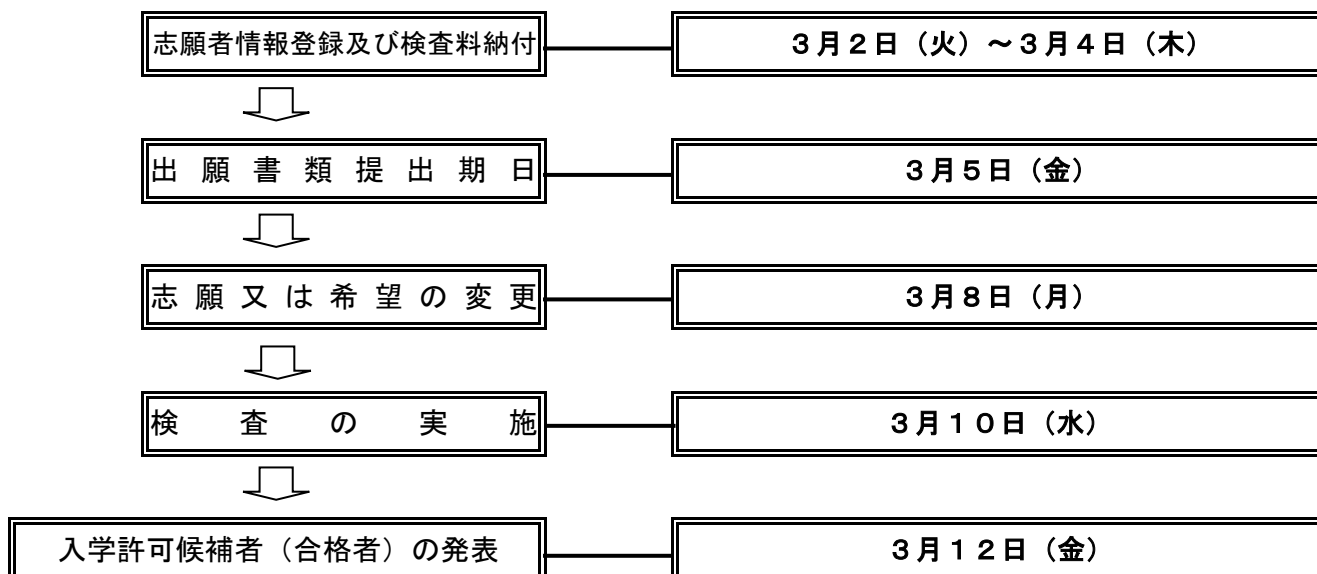
令和9年度(来春) 千葉県公立高等学校 選抜日程

I. 一般入学者選抜・特別入学者選抜・地域連携アクティブスクールの入学者選抜及び
通信制の課程の一期入学者選抜

出願方法—インターネットによる出願



II. 第2次募集(地域連携アクティブスクールを含む)及び
通信制の課程の二期入学者選抜



旧選抜制度と新選抜制度の相違点

- ❶ 受検する機会が、旧選抜においては前期選抜・後期選抜の2回あったものが、新入試選抜では1回のみとなります。
- ❷ 学力検査が、2日に亘って実施されます。（旧選抜では1日に国数英理社の5教科を実施）
- ❸ 英語の学力検査の時間が60分となります。（他の4教科は50分で実施、旧選抜では全ての教科を前期50分、後期40分で実施）
- ❹ 調査書の評定において、算式による統一した補正は実施しません。
- ❺ 本検査の他に、追検査が実施されます。（インフルエンザ罹患等のやむを得ない理由のみ受検可能）

	旧制度(令和2年度入学者選抜)			新制度(令和8年度入学者選抜)
名称	前期選抜	後期選抜	一般入学者選抜(本検査)	
検査日	令和2年2月12日(火) 令和2年2月13日(水)	令和2年3月 2日(月)	令和8年2月17日(火) 令和8年2月18日(水)	
発表日	令和2年2月19日(水)	令和2年3月 6日(金)	令和8年3月 3日(火)	
検査内容	第1日 5教科の学力検査(1教科50分) 第2日 各高等学校において、面接、自己表現、作文、適性検査等から一つ以上の検査を実施	5教科の学力検査(1教科40分)、面接等各高等学校が必要に応じて実施する検査	第1日 3教科(国語・数学・英語)の学力検査(国語・数学は50分、 英語は60分) 第2日 2教科(理科・社会)の学力検査(1教科50分)、各高等学校において、面接、自己表現、作文、適性検査等から、一つ以上の検査を実施	
選抜方法	調査書、学力検査の成績、各高等学校において実施した検査の結果等を資料とし、各高等学校が総合的に判定する。 調査書の評定は、算式1を使用する。	調査書、学力検査の成績、各高等学校が必要に応じて実施した検査の結果等を資料とし、各高等学校が総合的に判定する。 調査書の評定は、算式1を使用する。 B組の判定には算式2を使用する。	調査書の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項、学力検査の成績、各高等学校において実施した検査の結果等を資料とし、各高等学校が総合的に判定する。また、選抜資料は原則として得点(数値)化し、各高等学校は、選抜・評価方法において公表する。 調査書の評定は、全学年の合計値を使用する。算式による補正は行わない。	
追検査	実施していない。	実施していない。	実施する。(インフルエンザ罹患等の理由のみ)	

【一般入学者選抜】の検査内容と選抜方法

1. 本検査

(1) 検査の内容等

		検査の内容	時間・配点
第 1 日	【学力検査】 国語・数学・英語	国語は、放送による聞き取り検査を含む。 (国語の聞き取り検査は9年度入試より廃止) 英語は、放送によるリスニングテストを含む。	国語・数学は50分 英語は60分 各教科100点
	【学力検査】 理科・社会		各教科50分 各教科100点
第 2 日	【学校設定検査】	各高等学校において、面接、集団討論、自己表現、作文、適性検査、学校独自問題及びその他の検査のうちからいずれか一つ以上の検査を実施する。	検査の時間等については、各高等学校が定める。

※定時制の課程において、学力検査を3教科（国語・数学・英語）に定め、学校設定検査を第1日の学力検査終了後に実施した場合、検査期日を第1日の1日のみとすることができます。

【学校設定検査】の各検査の概略

- 面接
学習活動や学校生活に対する意欲・関心、あるいは一般常識を問う検査。
- 集団討論
複数の受検者に対して、同一のテーマを与え、司会者を定めずに自由に討論させる検査。
- 自己表現
決められた時間内において、あらかじめ受検者が申告するなどした実施形態によって発表をさせる検査。
- 作文
指示された題名のもとに(自由に書かせることを含む)、文書を作成させる検査。
- 小論文
ある文章や資料等を与え、その全体又は一部について問い、受検者のものの見方・考え方等を見る検査。
- 適性検査
専門学科が、その特色に応じて行う実技等の検査で、各学校が指定する実施形態によって行う検査
- 学校独自問題
基礎・基本の定着を見る問題、思考力・応用力を見る問題又は教科横断的な総合問題による検査。
- その他の検査
上記以外で、あらかじめ学校が示した方法による検査。
例 ・県が作成する思考力を問う問題 ・集団に課題を与えて、活動を観察する検査（集団適性検査）

(2) 検査の時間割

		第 1 日	第 2 日
本 検 査	9:30	集合	9:30 集合
	9:30～ 9:50	受付・点呼	9:30～ 9:50 受付・点呼
	9:50～10:05	注意事項伝達	9:50～ 10:05 注意事項伝達
	10:20～11:10	国語	10:20～11:10 理科
	11:40～12:30	数学	11:40～12:30 社会
	12:30～13:15	昼食・休憩	12:30～13:15 昼食・休憩
	13:25～14:25	英語	13:25～ 学校設定検査

※学校設定検査のうち、県が作成する「思考力を問う問題」を実施する場合は、第2日の午後1時25分から午後2時25分に行う。

※3教科の学力検査を実施する定時制の課程にあつては、学校設定検査を第1日の午後2時40分以降又は第2日の午前9時30分以降に行うものとします。

(3) 選抜方法

ア 基本的選抜方法（令和8年度入試では、全日制全体の約90%がこの方法で選抜をおこないました。）

「千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項」には、次のように定められています。

・中学校の校長から送付された調査書等の書類の審査、学力検査の成績及び学校設定検査の結果を選抜の資料とし、各高等学校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して入学者の選抜を行うものとする。
 ・調査書の必修教科の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項、学力検査の成績、学校設定検査の結果等の選抜の資料は原則として得点（数値）化するものとし、**選抜のための各資料の得点を合計した「総合点」に基づき総合的に判定する。選抜の資料の配点は各高等学校において別に定める。**
 ・各高等学校の選抜の手順、選抜のための各資料の項目及び配点等を定めた「選抜・評価方法」は、各高等学校のウェブページに掲載する。

上記の文章より、選抜は次の4つの資料で行われます。それぞれを数値化し、合計した「総得点」に基づいて合否を決めます。

- 【学力検査の成績】
- 【調査書中の必修教科の全学年の評定合計値】
- 【調査書中の記載事項】
- 【学校設定検査の結果】

それぞれの選抜資料は、学校・学科の特色や相対的なバランスも考慮し、次のように定められています。但し、市立高等学校においては、当該市教育委員会が定めるところによります。

●【学力検査の成績】

学力検査を実施した各教科の得点を合計し、「学力検査の得点」とします。5教科を実施した場合は、各教科100点ですので、**基本的には500点満点**となります。但し、「理数に関する学科」、「国際関係に関する学科」については、特定の教科を1.5倍又は2倍した値をその教科の得点とみなすことができます。

（昨年度入試の倍率は、8ページの表1を参照）

特定の教科	「理数に関する学科」…数学及び理科	「国際関係に関する学科」…英語
-------	-------------------	-----------------

また、三部制の定時制の課程で学力検査を5教科で実施した場合、5教科のうち、志願者が出願時に申告した3教科の得点を1～3倍した値をそれぞれの教科の得点とみなすことができます。（昨年度の倍率は全て1）

●【調査書中の必修教科の全学年の評定合計値】

調査書の教科の学習の記録における、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語（外国語については、必修及び全ての生徒が共通に履修するもの、現実的には英語）の評定の全学年の合計値（135点満点、45点×3年間）について、各高等学校が定める**Kの数値を乗じ「調査書の得点」と**します。Kの数値は、原則として1とし、各高等学校において学校の特色に応じて0.5以上2以下の範囲内で定めます。

$$\text{調査書の得点} = \text{必修教科の全学年の評定合計値 (135点満点)} \times K (0.5 \sim 2, \text{原則} 1)$$

●【調査書中の記載事項】

調査書中の記載事項（部活動、生徒会活動、資格など）について、各高等学校は学校の特色に応じて**50点を上限**として、上記の「調査書の得点」に加点することができます。

●【学校設定検査の結果】

「学校設定検査の得点」の配点は、各高等学校が設定した検査数により決められています。
 設定した検査数が1つの場合………**10点以上100点以下**
 設定した検査数が2つ以上の場合…**合計得点の上限150点**
 ※専門学科において適性検査を2つ以上実施し、さらに面接を実施する場合には、面接の配点は50点を上限とし、かつ学校設定検査の合計得点は200点を超えないものとします。また、学校設定検査を「その他の検査のうちの県が作成した思考力を問う問題」にした場合の配点は、100点とします。

基本的選抜方法

学力検査	調査書中の		学校設定検査	総得点
	全学年の評定合計値	記載事項		
100×5教科 500点 理数に関する学科(数学・理科) 国際関係に関する学科(英語) 1.5倍又は2倍可 ○○○点	135点 × K K = 0.5 ~ 2 原則 1 △△△点	0 ~ 50点 県大会出場など 英検・漢検など 生徒会役員など □□点	1検査 ……10点~100点 2検査以上…上限150点 *適性検査2つ以上+面接実施の場合 面接50点まで、合計得点の上限は200点 ◇◇点	◎◎◎点

イ 2段階による選抜方法（令和8年度入試では、全日制の約10%がこの選抜方法を導入しました。）

一般入学者選抜では、上記の「基本的選抜方法」に加えて各高等学校の特色を重視した選抜を行う、といった2段階での選抜を行うことができます。2段階での選抜を行う場合は、2段階目で選抜する人数は、募集人員の20%以下としなければなりません。

令和8年度入試で「2段階による選抜方法」を導入した学校・学科（16校21学科）

学校名	学科名	学校名	学科名	学校名	学科名
若松	普通	四街道	普通	木更津	普通・理数
幕張総合	総合学科	佐原	普通・理数	君津	普通
市立習志野	普通	東金商業	商業・情報処理	袖ヶ浦	普通
市立船橋	普通	一宮商業	商業・情報処理	袖ヶ浦	情報コミュニケーション
松戸六実	普通	大原	総合学科	京葉	普通
市立松戸	普通	安房	普通		

2段階目の選抜では、1段階目の基本的選抜方法で得点（数値）化した【学力検査の成績】、【調査書中の全学年の評定合計値】、【調査書中の記載事項】及び【学校設定検査の結果】に、次のk1、k2、k3又はk4の数値を乗じた得点を、選抜の資料とすることができます。

k1	… 調査書中の全学年の評定合計値にKを乗じた数値に乘じる係数
k2	… 調査書中の記載事項の加点に乘じる係数
k3	… 学校設定検査の得点に乘じる係数
k4	… 学力検査の得点（特定教科の傾斜配点も含む）に乘じる係数

k1、k2及びk3の数値は、それぞれ1以上とし、各高等学校が定めます。またk1、k2及びk3を乗じた後の各資料の配点は、「基本的選抜方法」のそれぞれの上限を超えないものとします。また、k4の数値については、1以上1.5以下とします。

調査書中の全学年の評定合計値の上限…Kの数値が2の場合の270点
調査書中の記載事項の上限……………50点
学校設定検査の得点の上限……………1検査の場合100点、2検査以上の場合150点 適性検査2つ以上+面接の場合200点

2段階による選抜方法の例

A高校 普通科 募集人員280名

- 1段階目の選抜（基本的選抜方法） 募集人員の80%、K=1、学校設定検査：面接

次の表の各資料の配点及びそれらを合計した総得点に基づいて、募集人員の80%（224名）までを選抜します。

学力検査の成績	調査書中の		学校設定検査	総得点
	全学年の評定合計値	記載事項（加点）		
各教科100点 × 5	135点×K（1）	25点を上限に加点	面接官3名 各10点×3	690点
500点	135点	25点	30点	

- 2段階目の選抜（学校の特色を重視した選抜方法） 募集人員の20%
k1及びk2=2、k3=3、k4=1.5

募集人員の残り20%（56名）については、次の表の各資料の配点及びそれらを合計した総得点に基づいて選抜します。

学力検査の成績	調査書中の		学校設定検査	総得点
	全学年の評定合計値	記載事項（加点）		
各教科100点 × 5	【135点×K（1）】	25点	30点	1,160点
× k4（1.5）	× k1（2）	× k2（2）	× k3（3）	
750点	270点	50点	90点	

2. 追検査（インフルエンザ罹患等への対策）

（1）受験資格

インフルエンザ罹患等による急な発熱で別室での受験も困難である等、やむを得ない理由により本検査又は一部を受検することができなかった者を対象とします。

（2）連絡、提出書類及び提出先

追検査を志願する者の在籍する中学校の校長等は、追検査受験願等の提出期間の前日までに、当該志願者の志願した高等学校の校長に電話により連絡しなければなりません。

また、追検査を志願する者は次の書類を、志願した高等学校の校長に提出しなければなりません。

- ・本検査出願時に交付された受験票
- ・追検査受験願
- ・本検査を受検することができなかった理由を証明する医師の診断書
※医師の診断書を提出できない場合には、在籍中学校の校長が作成した本検査不受検理由証明書[※]を在籍中学校の校長の確認を経て、志願した高等学校の校長に提出します。

（3）検査の内容

5教科（国語・数学・英語・理科・社会）又は3教科（国語・数学・英語）の学力検査を、本検査とは別の問題により実施します。学力検査の時間は、国語・社会・数学・理科は各50分、英語は60分とし、配点は各教科100点とします。国語の問題は放送による聞き取り検査（9年度入試より廃止）を含み、英語の問題は放送によるリスニングテストを含みます。学校設定検査の実施については学校ごとの裁量とし、実施する場合にあっては、本検査に準じた学校設定検査を実施します。検査は1日のみで実施されます。

*本検査一部未受験者は、当該の教科等のみを受検します。

追検査の時間割

5教科の学力検査を実施する高等学校		3教科の学力検査を実施する高等学校	
時間	検査等	時間	検査等
8:45	集合	8:45	集合
8:45～8:50	受付・点呼	8:45～8:50	受付・点呼
8:50～9:00	注意事項伝達	8:50～9:00	注意事項伝達
9:05	検査室着席完了	9:05	検査室着席完了
9:10～10:00	国語	9:10～10:00	国語
10:15～11:05	数学	10:15～11:05	数学
11:20～12:20	英語	11:20～12:20	英語
12:20～13:00	昼食・休憩	12:20～13:00	昼食・休憩
13:10～14:00	理科	13:05～	学校設定検査（学校裁量）
14:15～15:05	社会		
15:20～	学校設定検査（学校裁量）		

（4）追検査の選抜結果

追検査の選抜結果については、本検査の結果と併せて発表されます。

表1 理数及び国際関係に関する学科で特定教科の得点にかける倍率（令和8年度入試）

理数に関する学科（数学・理科）			国際関係に関する学科（英語）		
学校名	学科名	倍率	学校名	学科名	倍率
船橋	理数	1.5	松戸国際	国際教養	1.5
柏	理数	1.5	流山おおたかの森	国際コミュニケーション	1.5
佐倉	理数	1.5	成田国際	国際	1.5
佐原	理数	1.5	東金	国際教養	1.5
			市立松戸	国際人文	1.5

※木更津高校及び市立千葉の理数科については、数学及び理科の得点に、各高等学校が定めた倍率を用いることをしません。また、くくり募集を実施する理数科（市立銚子・成東・長生）も除きます。

普通科内に設置されているコース

公立高校の普通科では、1年次においては共通科目を履修しますが、2年次からは生徒の興味や適性、進路希望に応じてコース制をとっている高校があります。文系コース・理系コースを除き次のようなコースが設置されています。

【国際に関するコース】

学区	学校	コース	備考
1	柏井	国際コミュニケーション	英語の授業を少人数で実施し、ALTとの授業も。中国語や韓国語も学習できます。
2	市川東	英語	3年次より開設。高大連携プログラム（神田外語大学、麗澤大学等）を実施。
9	君津	国際教養	英語学習に重点を置き、「英語理解」と「時事英語」などの専門科目も学びます。

【工業に関するコース】

9	天羽	工業基礎	ものづくりに関する基礎・基本を学び、地域産業で活躍できる人材を育成します。
9	姉崎	ものづくり	普通科の課程を基本に履修しながら、工業の基礎も学ぶことができます。

【商業に関するコース】

2	船橋豊富	情報	各種資格取得に挑戦しつつ、より高度な情報活用能力を身に付けることができます。
3	沼南	情報ビジネス	実社会に即対応できる専門的な知識と技術を習得します。
3	我孫子東	ビジネス	各種商業検定の取得を目指し、就職・進学の両方が可能なカリキュラムで学びます。
3	関宿	情報ビジネス	商業系の科目の学びに重点を置き、資格を取得して就職したい生徒を応援します。
5	多古	ビジネス	商業や情報関連の科目を学び、簿記やビジネス文書検定などの資格取得を目標とします。
6	九十九里	ビジネス基礎	コース制授業を実施。ビジネス文書実務検定等の資格取得を目指します。
9	天羽	実務	ビジネス科目や情報処理について学び、産業社会で生かせる能力を身につけます。
9	市原	商業	簿記、情報処理等の科目を学ぶ他、課題研究にも取り組みます。

【家庭に関するコース】

6	九十九里	生活デザイン（服飾、食物）	家庭科技術検定（被服製作・食物調理）等の資格取得を目指します。
9	天羽	生活	栄養・調理・ファッション・保育・幼児教育・福祉などについて学びます。

【福祉に関するコース】

1	犢橋	福祉	令和2年度設置。介護職員初任者研修の終了を目指します。
2	船橋豊富	福祉	福祉に関する専門的な知識はもちろん、介護技術の習得も目指しています。
2	松戸向陽	福祉	第3年次に、福祉の専門科目を10単位履修できます。
3	我孫子東	福祉	地域の方々の協力により、介護や福祉の考え方について学びます。
4	佐倉西	福祉	2年生で週4時間、3年生で週6時間を福祉の授業にあてます。
5	小見川	福祉	介護分野だけでなく、障害者福祉、児童福祉など広い分野について学びます。
6	松尾	福祉	将来、社会福祉で活躍したい人向けのコースです。
9	市原	福祉	卒業までに介護職員初任者研修を修了することができます。

【芸術・スポーツに関するコース】

2	津田沼	音楽	2・3年生で各6時間の音楽授業を履修し、専門的知識や技術を高めます。
3	沼南高柳	芸術	音楽・美術・工芸・書道から1科目選択。2年次週4時間、3年次6時間の授業。
3	流山南	スポーツ健康	体育に関する科目を多く学習します。スキー実習があります。
3	沼南	健康スポーツ	実習や体験授業が充実。フードデザインの授業も実施しています。

【人材育成等を目指したコース】

1	千葉女子	教員基礎	「せんせい」という仕事を知り、教育者になるための素養を高めることができます。
2	国府台	教員基礎	学習指導体験や夏季休業中の集中講座を通して、教職について学びます。
3	我孫子	教員基礎	教育に関する科目を設け、体験を重視した学習や外部講師による講座を実施します。
6	成東	教員基礎	普通科・理数科どちらでも受講可能。2年次は集中講義、3年次は選択授業での受講。
7	大多喜	教員基礎	保育所・小学校等での体験的な活動を通して学びます。放課後等を活用し、講座形式で実施します。
8	安房	教員基礎	2年次から「教員基礎」を履修し、3年次には「課題研究」に取り組みます。
9	君津	教員基礎	教育に関する授業や実習を行い、教員を目指すための体系的な学びを展開します。
1	土気	保育基礎	将来子どもと関わる職業につきたい、保育の基礎を学び、自分の将来を明確にするコースです。
2	市川南	保育基礎	保育士や幼稚園教諭を目指す人対象のコースで、保育の基礎を学びます。
3	鎌ヶ谷西	保育基礎	「保育基礎」、「保育実践」など、2年間で4科目・9単位の学びを实践。
4	四街道北	保育基礎	令和2年度設置。実習等を通して保育士等としての基礎的素養を身に付けます。
3	東葛飾	医歯薬	高い倫理性と豊かな人間性、医療系大学進学のための確かな学力を育成します。
4	成田北	医療	医療分野についての学習を通して、医療従事者として必要な資質の育成を目指します。
5	小見川	医療	香取おみがわ医療センター及び千葉科学大学との連携により、幅広い医療分野の教育を実現。
8	長狭	医療・福祉	地域の病院や福祉施設などと連携して、医療・福祉分野で活躍する人材を育てます。

【その他のコース】

3	沼南	環境サイエンス	古代米を育てるなどの、体験授業が充実。卒業研究にも取り組みます。
3	沼南	文化コミュニケーション	新聞などを題材に、国際理解や社会問題に取り組みます。

令和8年度千葉県公立高校入試概況

【全日制の課程】

一般入学者選抜

* 海外帰国子女、外国人、中国等引揚者子女等の特別入学者選抜も含む。

実施学校・学科数	124校199学科	(昨年度124校199学科)
募集人員	28,880人	(昨年度より840人の減少)
志願者数	32,136人	(昨年度より1,867人減少)
志願の取消し	128人	(昨年度より21人減少)
確定志願者数	32,008人	(昨年度より1,846人減少)
確定志願倍率	1.11倍	(昨年度より0.03ポイント下降)
欠席者	247人	(昨年度より24人減少)
受検者数	31,761人	(昨年度より1,822人減少)
内定者数(合格者数)	27,005人	(昨年度より959人減少)

【定時制の課程】

* 三部制の定時制を含む

一般入学者選抜

実施学校・学科数	16校16学科	(昨年度16校16学科)
募集人員	1,237人	(昨年度より40人減少)
確定志願者数	821人	(昨年度より88人増加)
確定志願倍率	0.66倍	(昨年度より0.09ポイント上昇)
受検者数	809人	(昨年度より87人増加)
内定者数(合格者数)	744人	(昨年度より45人増加)

【通信制の課程】

第一期入学者選抜

募集人員 360人 志願者数 195人 受検者数 190人 内定者数 190人